

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

学校名【 福岡県立直方高等学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ (V)
2 実施対象者	福岡県立直方高等学校 生徒 545名 教職員 40名 その他 75名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (110周年記念式典講演会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・前年度までに、オリンピック選手やパラリンピック選手等の講演会や体験授業を実施してきた。生涯を通じたスポーツへの主体的な参画(「する」、「見る」、「支える」、「知る」)の定着・拡大のために今年度は、スポーツに対する興味・関心を持たせるとともに、支えることの大切さを重視する。
5 取組内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> スポーツを通じて、豊かな人間性や社会性を育み、将来、地域社会に貢献できる指導者育成 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・事前指導 競技特性やルールを映像で紹介し、講演会に臨ませた。 事前にどのような話が聞きたいか調査し、話題提供の参考にする。 事前にDVD映像で講師を紹介し、さらに各自で講師の経歴などを調べ講演会に臨ませた。 ・講演会 令和元年10月11日(金) 11:30~12:35 講師：宇津木 妙子 氏 NPOソフトボール・ドリーム理事長 演題：「 夢の実現 ～ 努力は裏切らない ～ 」



	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒感想 <ul style="list-style-type: none"> ・宇津木さんから教わった、夢を持つこと、最後まであきらめないこと、そして努力をすること、これらのことを今後の学校生活や部活動で役立てていきたい。 ・自分と向き合うことは難しいと思うけれど、自分と向き合うことができれば、自分自身を成長させると今回の講演会で学ぶことができました。 ・今日の講演会を聞いて、私は努力が足りなかったと思います。最後の大会では、自分自身が納得できるように、これから努力していきたいと思います。 ・自分は普段から努力という言葉簡単に使っているけど、それは努力の言葉を軽く考えているからだと思います。本当に努力を積み重ねてきた人は、軽々しく努力という言葉を使わないということを知りました。 ・努力は、続けてするから意味があるということと、何事にも感謝しなければならないことを学びました。 ・きついから自分でやめることは簡単です。だけど、それをどうやって自分で決めてどう乗り越えられるかを決断する力が大切だと学ぶことができました。 ・私たちが今、スポーツをできているのは周りの支えがあるからだと、このことを改めて学ぶことができました。この環境に感謝して、今後の学校生活や部活動に活かしていきたいです。
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・NPOソフトボール・ドリーム理事長、宇津木妙子氏を招いての講演会を実施した。生徒の反応は、予想以上によく熱心に聞き、積極的に参加する姿勢が随所にみられた。現役高校生にとって、スポーツは「する」や「見る」に重点が置かれているのが現状であり、この事業を展開したことで「支える」ことへの関心は高まったように感じる。様々な視点でスポーツに関わることを考える大きな一歩となった。また、生徒が生きていく上で人生の糧になると考える。このような体験・経験は非常に重要であるとあらためて考えさせられた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に競技特性やルールを映像で紹介し、講演会に臨ませた。 ・事前にどのような話が聞きたいか調査し、話題提供の参考にする。 ・事前にDVD映像で講師を紹介し、さらに各自で講師の経歴などを調べ講演会に臨ませた。
8 主な課題等	<p>心に響く効果的、効率的な教材作りと指導方法。</p> <p>講師の方から直接、全校生徒を対象としての体験活動等を実施するには、場所や取り組みを考える必要がある。</p>
9 来年度以降の実施予定	検討中